



「愛宕念仏寺 千二百羅漢像」

いつまでも安心して住み続けられる地域を

- ・行け行け！ まちのおさいふ探検隊
「財政分析は、まちづくりの基本的な学習です」
長谷博司 2
- ・宇治でもいよいよ「まち研」発足
名称は「宇治自治体問題研究所」谷上晴彦 4
- ・連載（10）今を読み解く一枚 池田 豊 6
「宮津火力発電所反対運動から50年、中間
貯蔵施設との関連は？」
- ・毎月第2金曜日は「綾部くらしの懇談会」の
サロンです 堀口達也 7
- ・交流の広場 8
- ・ふるさと再生 品田 茂 9
福知山市水道事業の包括的民間委託
「いのちの水」が営利に利用される方向に進
んでいいのか
- ・私の本棚 中島祐子 10
- ・続カメラ探訪 10 内野 憲 11
- ・事務局通信 12



(社)京都自治体問題研究所

TEL: 075-241-0781

FAX: 075-708-7042

Email: kyoto@kyoto-jichiken.jp

HP: <http://www.kyoto-jichiken.jp/>

発行人 大田直史

(「住民と自治」 11月号付録)

行け行け！ まちのおさいふ探検隊

「財政分析は、まちづくりの基本的な学習です」

まいづる市民自治研究所事務局長 長谷博司

まい研では、9月24日に舞鶴市の財政分析報告会を舞鶴市西駅交流センターで開催されました。事務局長の長谷博司さんに、今回の財政分析活動がめざしたことをお聞きしました。

◆財政分析に取り組むのは、初めてですか？

長谷 まい研は、2005年の設立から、毎年1回は舞鶴市の財政状況をテーマに学習会を開いてきました。財政分析は「まちの研究所」活動の基本です。

行政は「財政が厳しい」とか、「予算がない」と、よく言います。でも、実際に財政を調べて、行政が何にお金をつかっているかを知ること、行政の姿勢、考え方、まちづくりの方向性が見えてきます。

学習会は、昨年12月から、1か月に1回のペースで開いてきました。偶数月は、立命館大学の平岡和久先生に参加していただき、アドバイスをもらっていました。

参加者は、まい研の会員に呼びかけ、6人で学習と作業をしました。うち4人は、財政分析は初めての体験でしたので、財政用語がわかりにくくて大変だったようです。

◆やわらかい雰囲気での報告書です

長谷 財政分析というと難しそうですが、気軽に手に取って、読んでもらえる報告書としてまとめることをめざしました。ラフなレイアウトにして、イラストや写真も多く載せています。

それに、財政分析作業は大変そうですが、実際にやってみると、どこの地域でも簡単にできます。財政分析作業のハードルは高くありません。

分析作業に使用したのは「決算カード」です。決算カードは、自分たちのまちの役場や市役所で提供してもらえますし、総務省や京都府のHPには決算資料がアップされています。

決算カードを準備して、収入や支出の項目ごとに並べてみると経年変化が見えてきます。また、ほかの自治体の数字と比較することで、自分のまちの特徴がわかります。

◆「行け行け！ まちのおさいふ探検隊」の特徴は？

長谷 目次をご覧ください。まだまだ十分な内容ではありませんが、財政分析報告書の基本形はできたように思います。この点が、今回の大きな到達点です。まい研では、4年後に再び財政分析を行いますので、今回の報告書の構成をベースに、充実した財政分析にしていきたいと考えています。

目次

1. はじめにー財政分析の目的ー
2. 舞鶴市の紹介
3. 自治体の会計とは
4. 収入の分析
〈コラム〉「自衛隊は飯のタネ」なのか？
5. 支出の分析
〈コラム〉図書館の資料費は如何に減額されたか
6. 財政指標の分析
7. 舞鶴市財政への提案
8. 【特別寄稿】「地方財政はなぜ厳しくなったのか」
平岡和久（立命館大学教授）
9. あとがき、参考資料・文献
（資料）舞鶴市の歳入・歳出・分析指標等の推移（決算カードより）

いろいろな工夫もしてみました。

1点目は、48頁のコンパクトな報告書にしたことです。財政分析は、市財政のおおまかな特徴をつかむことが重要です。48頁ですから、すぐに読めて、くりかえし読めます。

2点目は、財政用語の説明をわかりやすくしました。

3点目は、読みやすくするために、海上自衛隊と図書館についてのコラムを掲載しています。

4点目は、財政分析報告書に必要な内容として、「市財政への提案」をみんなで考えてみました。しかし、まだまだ十分ではありません。提案内容は、これからの学習で説得力のあるものにしていきたいと思っています。

◆地方財政は、なぜ厳しいのでしょうか？

長谷 地方財政の現状を把握する際、財政収支については「実質単年度収支」を見ることがポイントになります。全国の自治体の普通会計決算における実質単年度収支を見ると、2015年度は1055自治体が赤字でした。2016年度は1595自治体と増加しています。

京都府内の自治体財政も、状況は厳しくなっています。そこで平岡先生に、全国的な視点から、地方財政が厳しくなった原因を分析していただきました。

平岡先生は、地方財政が厳しくなった要因として、次の3点を指摘されています。

第1点は、地域共同需要の増大と国による地方経費抑制策です。

第2点は、地域経済の低迷と税収の伸び悩みです。

第3点は、政府の経済政策、社会保障政策および地域政策の失敗です。

自治体財政をめぐる動向について、5000字という短い文章でコンパクトにまとめていただきましたので、ぜひご覧ください。

◆みなさんへのメッセージをどうぞ

長谷 財政分析は、ひとりでやるには大変です。でも、数人で集まって、やってみると何とかなるものです。財政分析をやってみる目的が明確でしたら、作業は苦になりません。

近くの自治体の方に声をかけて、決算カードを持ち寄って、一緒に学習会を開いてみるのもいいかもしれません。お互いの特徴がよく見えます。例えば、京都北部の自治体では、「財政難」という話が急に持ち上がってきました。確かに、地方財政が厳しいのは事実です。しかし、どこがどう厳しいのか、厳しくなった原因はどこにあるのか、調べなければ、事実は見えてきません。ややもすれば、「財政が厳しい」という言葉だけが先行し、原因が不明なままで、住民や自治体職員ばかりに、そのしわ寄せがある可能性も懸念されます。

住民みんなで自治体の方向性を決めていくために、財政分析にぜひ皆さんもチャレンジしてみてください。ハードルはけっして高くありません。



冊子「舞鶴市財政の分析」1,000円

発行：まいづる市民自治研究所
TEL:0773-75-5753

宇治でもいよいよ「まち研」発足

—名称は「宇治自治体問題研究所」—

同準備会 谷上晴彦

宇治でも「まち研」が発足します。準備会に10数人が集まり、名称や会費、取り組みについて検討してきました。名称は「宇治自治体問題研究所」と決定。発足の経緯と今後の予定を紹介します。

■「いつ作るのか！」「今年でしょう！」

宇治で「まち研」をつくりたいと長年話をしてきた3人が今年の春、喫茶店に集まりました。コーヒーを手に「『いつか作ろう』ではだめだ」「いつ作るのか！」「今年でしょう！」となり、その場で「今年秋に結成すること」を決めました。そして、「ああだ」「こうだ」と話になりました。しかし、3人だけの関心ごとでは輪が広がらないので、発足前の準備から一緒に考えてくれる創業者仲間を募ることにしました。

別掲のチラシをつくと話題になり、10人を超える仲間が準備会に集まってくれました。宇治市職労も積極的な支援を決め、準備会に書記長、自治研部長が参加しています。

■前史がある

実は、市町村合併が吹き荒れていた当時、宇治で自治問研（準）として有志が定期的な学習会をしていました。しかし、正式に発足させる段取り、中長期の取り組み目標をはっきりさせて

おらず、いつの間にか開店する前に休業状態に。当時のメンバーは「まち研」発足を宿題としてずっと残していました。

ごいっしょに
宇治の「まちづくり」を考えましょう

宇治自治問題研究所（仮称）

よびかけ 2018年秋 発足

私たちが暮らし、働く宇治市の産業の現状は？宇治市の財政はどうなっているの？宇治市の行政は？・・・市民自らの手で宇治、住みよい宇治市づくりを考える・・・そんな宇治自治問題研究所（仮称）を2018年秋に発足させたいと考えています。
あなたも一緒に、研究所をつくりませんか。準備ミニ学習会とフリートークの集いを行います。まずはご参加ください。

準備ミニ学習会&フリートーク

■第1回 自治を考える1 問題提起 藤井功さん（同志社大講師）
「自治って、どういうこと ～住民にとって、行政にとって～」
7月14日（土）13:30～15:00 宇治市職員会館（2階和室）

■第2回 自治を考える2 問題提起 宮本繁夫さん（市職）
「自治発展のために私が感じている宇治の課題」（仮）
8月25日（土）13:30～15:00 里尻集会所（JR宇治北出口すぐ）

2018年7月
連絡先 谷上（090-1135-6298）

宇治自治問題研究所準備会

■発足の決断の背をおしたこと

(1) 「自治体に大きな波が押し寄せている。宇治市はどうなのか」

人口減少、それを口実に国は公共施設の整理統合を押し付けています。その具体化がすすめられつつあります。

その一方で、公務の産業化の種々の手法をつかって、自治体が大型事業をすすめています。例えば、宇治市は、太閤堤跡（太閤秀吉がつくったとされる宇治川の堤防跡）を利用し、総額88億円の事業費の公園構想を進めています。しかもPFI方式・利用料金制（設計・建設、15.5年間の運営を1企業にまかす）で計画。お隣の城陽市は、行

政財産として使用している文化パーク城陽にセール&バック方式を導入。

私たちが自治体での具体化に対処するには、国が次々繰り出すことについて批判的に学ぶこと、その大前提として、“まちづくり”とは何なのかを学ぶ必要があるように思います。

(2) 宇治市の財政はどうなっているのか

宇治市は昨年9月に突然、「今後4年間で収支不足が85億円」と言い出し、公共料金の軒並み引き上げ、敬老会事業などの中止、職員賃金の引下げ（直接の理由はラス指数）などを行いました。さらに様々な市民負担を検討しています。

一般的に財政が楽な自治体はありません。なぜ突然、宇治市は言い出したのか、宇治市財政の実態はどうなのか、財政のどこが問題なのか、私たちがしっかり学ぶ必要性を感じます。

■発足から今後について

岡田先生の発足記念の公開講演会、1年かけて財政の連続講座

準備会で参加者から「“まちづくり”というと、『どこどこに道路・側溝をつくってほしい』という話になる。それも大事だが、我々がもっと大きな“まちづくり”構想をもつ必要がある」「市に要望に行くと、部長・課長・係長が『財政が厳しい』という。市民では返す言葉がない。市民が宇治の財政を勉強することは大事だ」の声がありました。

発足記念講演会（11月）には、岡田知弘自治体問題研究所理事長に“まちづくり”について講演していただきます。12月から隔月で財政連続講座を開催します（全6回。講師：初村尤而さん）。準備会では、年1～2回は講演会、会員の関心ごとのグループ研究、ニュースや成果物の公表を行いたいと話合っています。

全6回
財政をそもそもから学ぶ連続講座

12月スタート
隔月に開催

受講生募集

第1回 2018年12月13日(木) 18:30～
19時15分開始(開演) 19時は質疑応答です。

会場 宇治市生涯学習センター 第3ホール
元大塚製菓株式会社 大塚食品開発研究所

講師 初村尤而さん

受講料 6,000円 (全6講座分) (会費は無料)

主催 宇治市自治体問題研究所

講師メッセージ

話を聞いて「財政を学習」するだけでなく、並行してみんなで「財政分析にチャレンジ」します。パソコンを使います。持っていない人、使えない人も、心配無用。パソコン作業は得意な人に任せ、その代わり、しっかり経年変化表とグラフを確認して下さい。どう感じたか、どこが問題と思うか話して下さい。それが市民が行う財政の学習であり、財政分析です。

財政連続講座 受講申込書

受講料を添えて、申し込めます。月 日

氏名		どちらかに <input type="checkbox"/> を記入	会員 非会員
連絡先			
住所			
電話			
メール			
受講料	6,000円	会員は無料	

■宇治自治体問題研究所にぜひご加入ください

年会費は6,000円（会費の独立採算で運営）。会員は財政連続講座を無料で受講。他の企画も無料または低廉で参加できます。

2018年11月

宇治自治体問題研究所
発足記念 公開講演会

よりの宇治をめざす
“まちづくり” 戦略のツボ

全国各地の実践事例を踏まえ

11月9日(日) 18:00～
ゆめりあうじ
岡田知弘 さん

主催 宇治市自治体問題研究所 協賛 宇治市職労

講師による「わがまちの研究」
宇治自治体問題研究所

まちづくり研究の第一人者
初村尤而さん
『まちづくり』の第一人者、初村尤而さん。自治体問題研究所理事長。『自治体問題研究所』の代表理事。『自治体問題研究所』の代表理事。『自治体問題研究所』の代表理事。

講師 初村尤而さん 18:30
〒626-0001 宇治市 1-1-1
TEL 074-253-1111

宮津火力発電所反対運動から50年、中間貯蔵施設との関連は？

10月3日「関電、宮津火力発電所再稼働を事実上断念 地元は再開発要望」の記事(京都新聞)が掲載されました。50年前の宮津火電建設反対運動を思い出された方も多いことでしょう。

1965年9月、関西電力は栗田半島小田宿野にある旧海軍航空廠跡一帯に大規模な火力発電所建設計画を発表しました。67年に地元の栗田漁協は総会で漁業権放棄を決めました。府漁協など丹後地方の漁業関係者は粘り強い持続的な反対運動を繰り返しました。

1967年7月7日2時から宮津市役所前で80人を超える漁民が断食闘争に入りました。翌日からは、伊根町を中心とした800人にのぼる漁民が家族ぐるみで漁船を連ね宮津市に上陸し、市中デモをして市役所に集まりました。大漁旗やムシロ旗には「四日市の二の舞はごめんだ」、「漁民に死ねという発電所誘致絶対反対」を掲げました。7月31日には丹後沿岸の漁民2500人が市役所に押しよせ「若狭湾を死の海にするな」の抗議デモを繰り返しました。

1970年の知事選挙で6期目の当選を決めた蜷川知事(伊根町では45.3%の得票率)は、翌71年9月、宮津市を訪れ「京都府沿岸には一切建設を認めない」と言明して関電の要請を正式に拒否しました。



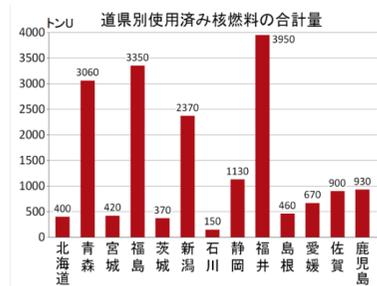
【1967年7月 宮津市役所前】

同時に、与謝・宮津住民議会、宮津漁協、地労協などを中心に「海洋センターの設置を進める会」が結成され、伊根町でも町ぐるみの設置運動が展開されました。1976年京都府水産試験場が府立海洋センターに移転し6月に開所となりました。

蜷川知事は1977年12月26日の記者会見で、栗田半島の海洋センター横の空地に電力九社と提携して「エネルギー研究所」を作る構想を発表。エネルギー不足打開の研究を柱に①エネルギー不足に対する原子力の利用、②エネルギー全般の研究や波エネルギーの電力化をとというものでした。翌年4月、林田府政に変わってからその内容は大きく変化し、府北部を巨大なエネルギー基地にする突破口と位置付けられましたが、今幕を閉じようとしています。

関西電力は15日の宮津火電再稼働断念の発表の際に、固定資産税減を視野に、再開発に関して「地元の方針を理解してもらえればアイデアを出す」と述べました。一方宮津市は関電発表に先立ち4日に、財政難により3年後に北海道夕張市と同じ財政再生団体に陥る可能性があるとして議会に示しました。

若狭地域は全国で再稼働認可原発最多7基、内再稼働4基、更に使用済み核燃料保管量も福井県は最多となっており、中間貯蔵施設の確保は急務となっています。関西電力は2018年内に福井県外で中間貯蔵施設場所を選定することを福井県に約束しており、南海トラフ地震も予想され和歌山県などの太平洋側は不可能なので、宮津火力発電所跡は有力な候補地と言えます。



【2017年9月における道府県別使用済み核燃料保有量】

毎月第2金曜日は「綾部くらしの懇談会」のサロンです

綾部くらしの懇談会 主宰 堀口達也

毎月第2金曜日は「綾部くらしの懇談会」のサロンです。10月は、7月豪雨や台風災害について堀口が、災害現場の写真や新聞の切り抜きなど25ページをプロジェクターを使い報告しました。その後質問や防災対策、避難所の運営について意見交換をしました。7月の豪雨ではR27号が土砂災害で通行止めになったり上杉町で裏山が崩れて3人の方が犠牲になったり、8月の台風災害など身近なことだけに多くの意見や提案がだされました。

報告の中で、上杉町や旭町の上空から撮影した写真を見ながら災害の規模の大きさに驚いたり、市内の主要な国道・府道などが土砂や冠水で通行不能になり綾部市が“孤立”状態になることに驚きの声がありました。そして小学校区単位で被害状況を地図に記入して見ようとの提案もありました。また、学校体育館に避難した方が、真っ暗の中、グラウンドにあるトイレ行く最中に、溝に転落をして骨折する事故も起きました。安全が必要とされる避難所でこのようなことが起きたことから改めて「避難所の安全総点検を」との提案もだされました。

「コメ制度改革で綾部の農業は」の懇談会では、2018年からコメの直接支払い制度が廃止されることにより、10アールあたり7,500円がなくなることが報告されました。2017年の支払実績は1518

農家に対して、8,144万円でしたのでこの削減の影響は大きく、農業破壊につながるのではないかと心配されています。

このような綾部くらしの懇談会は、今年1月市長選挙が終わってから、「みんなで作る綾部民主市政の会」が、地域振興や原発・市民のくらしなどに関わる問題を、市民のみなさんと一緒に協働して「政策や提案」をしていこうと始めました。「どうなる生活保護制度」「コメ政策の大転換で綾部の農業はどうなる」「2018年綾部市予算の概要」「災害対策」など、各地域や町内などの要求をだしあい交流をしています。報告者は各団体の方や、その道の専門家など、市内の方々に依頼をしています。毎回、参加は10～15人ですが、テーマ毎にだされる資料に目を通したりメモをしたりと好評です。

参加費は一人200円で、本格コーヒーと手作りケーキ付きです。たまには残り物のケーキやパンのお土産もある時があります。懇談会の結果は、「綾部くらし懇談会」で報告し、参加いただけなかった方にも情報提供をしています。

11月は9日の金曜日で、綾部診療所コミュニティホールで開催いたします。

交流の広場

生かそう憲法 守ろう9条
11/3 憲法集会 in 京都
 11月3日(土・祝) 13:30～
 円山野外音楽堂(雨天決行)

2018
11/3
 (土・祝)
 13:30～
 円山野外音楽堂

講演
 廣渡清吾さん
 東京大学名誉教授・市民連合

ミニライブ
 沖繩そして9条
 川口真由美
 with おもちゃ楽団

講演
 廣渡清吾さん
 東京大学名誉教授
 ・市民連合

ミニライブ
 - 沖繩そして9条 -
 川口真由美
 with おもちゃ楽団

米軍基地はいらんちゃ
 11月4日(日) 12:00開場
 丹後文化会館(雨天決行)
 11:00～11:30 現地視察会

米軍基地はいらんちゃ!
 FESTA2018
 2018.11.4 SUN

Introduction
 Program
 11:00～11:30 現地視察会
 12:00 丹後文化会館・開場
 13:00 FESTAスタート
 14:40～15:20 川口真由美トーク&ライブ

13:00～
 FESTAスタート
 オープニングうたごえ
 現地のレポート・交流

14:40～15:20
 川口真由美さん
 トーク&ライブ

集会後パレードあります

憲法ウォーク 15:15～

「森林経営管理法」を考える学習・交流会
 とんでもない国の動きにどう対応するか
 11月6日(火) 14:00～17:00
 京都府職員福利厚生センター

講演 泉英二 愛媛大学名誉教授
 (国民森林会議提言委員会委員長)

「森林経営管理法」を考える学習・交流会



とんでもない国の動きに
 どう対応するか

とき: 11月6日(火) 14:00-17:00
 会場: 府職員福利厚生センター
 (京都市南区)

先日の報告で学びました「森林経営管理法」(来年4月1日施行)をめぐる大きな議論が広がっています。国有林の大部分を市町村が管理する。結果的には再委託を受けた伐採業者が採伐し販売する、というものです。山林所有者にとってはまさに「採算に合わない」ともいえない状況です。その上、採算は自前伐で採算をとるなどから、土砂崩壊など災害の発生、生物多様性・水源涵養機能の低下など環境への影響も、十分な検証と検証の一環の検証が必要となります。

<講演> 泉英二 愛媛大学名誉教授
 ・国民森林会議提言委員会委員長
 ・国会で参事として同法反対の論陣

<主催> 「森林経営管理法」を考える学習・交流会実行委員会

- 自然の自然を守る会
- ふるさと再生京都府議会
- 中央しん山山会
- 農林組合京都府連合会
- 京都府農村労働組合
- 京都府労働組合連合会
- 京都府職労労働組合連合会
- 京都府自由労働組合連合会
- 京都府市民連合会
- 京都府有資格者問題研究会
- 京都府学生連合会
- 京都府青年労働問題研究会
- Pの法(京都・森と住まい)百年の会

連絡先: 075-642-0951 (国民森林会議京都府連合会)
 ※当日は駐車場事情が極めて悪いため、公共交通機関でお越しください。

11・25元NHK記者相澤冬樹氏講演と討論会
森友問題が私たちに投げかけるもの

11・25元NHK記者相澤冬樹氏講演と討論会
森友問題が私たちに投げかけるもの
 お話: 相澤冬樹さん

11月25日(日)
 開場13:00 開演13:30
 京都教育文化センター(101号)

資料代 500円
 会場: 京都府立総合資料館(京都市南区)
 〒615-0855 京都市南区九条1丁目1-1
 TEL: 075-708-7042 FAX: 075-708-7042

お話: 相澤冬樹さん
 11月25日(日)
 13:30開会
 教育文化センター
 101号
 主催: NHKメディア
 を考える京都の会
 資料代: 500円

手のひらに憲法プロジェクト
 URL <http://www.pocketkenpo.com>

<ポケット憲法のお申込み>
 Mail info@pocketkenpo.com
 TEL 075-211-1161
 FAX 075-708-7042

福知山市水道事業の包括的民間委託

「いのちの水」が営利に利用される方向に進んでいいのか

今年6月の福知山市議会に、2019年度からの「水道事業の包括的民間委託」が提案されました。6月議会では継続審議になりましたが、9月3日に議決されました。

7月10日、市議会産業経済委員会が開かれ、提案内容が説明されました。市によれば、現在は水道事業のうち45業務を33社に委託していますが、来年度は新たに9業務を委託することにより、合計54業務を1社に包括的に委託するといいます。

職員体制は、委託前の3課8係62人（正職43人、嘱託13人、臨時6人）を、委託後には2課6係38人（正職32人、嘱託4人、臨時2人）と、職員24人を削減。委託費は5年間で約25億円として、1割の経費を削減すると言います。

この問題は地元紙でも大きく報じられ、水道事業の今後について市民の懸念が高まりました。この状況をふまえて、福知山市職員組合と福知山地方労働組合協議会では、包括的民間委託の問題点を市民に伝え、課題を学習するために、9月1日に福知山市内で緊急市民学習会を開催しました。

講師の近藤夏樹氏（自治労連公営企業評議会事務局長）は、1社に包括的に民間委託することは2001年の水道法改正で可能になり、委託が広がることで、自治体が水道事業を運営していくための人材とノウハウが失われてきていると指摘。次のステップとして、水道事業の「まる

ごと民営化」への道が開かれる危険性を強調されました。実際に、静岡県浜松市では、現在、参議院で継続審議になっている水道法改定案の成立を前提に、2022年度からの「まるごと民営化」が計画されています。

近藤氏は「日本の水道事業は世界最高水準です。蛇口をひねれば、安心して飲む水が出てきますが、この民間委託問題をきっかけにして、福知山の水道がどうあるべきかを市民の皆さんで考えてください」と語られました。

参加された市民からは、「いのちの水だからこそ、公的機関である市役所が水道事業をやってきた。市民に説明もなく、こんな大事な問題を決めるなんて…。心配なので、もっと情報がほしい」「災害時は大丈夫なのか」「委託化の流れは、どうしたら止められるのか」などの意見が出されました。

2019年度から委託される水道業務には、水道事業の心臓部とも言える浄水場の運転管理業務なども含まれています。7月10日の市議会での説明で市当局は、「包括的民間委託としても、今までと何ら変わらない。市が指導していく」と説明していました。しかし、委託が長期化していけば、業務に精通した職員は少なくなり、指導やモニタリング（監視）は困難になっていきます。水や空気のように人がそれなしでは生きていけない公共財を、市場経済に投げ出してしまふことは許されません。

「子どもたちの階級闘争 ブロークン・ブリテンの無料託児所から」

(みすず書房 ブレイディみかこ著 2017年 2,592円)

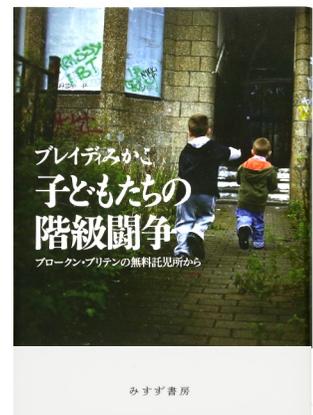
私がこの本を知ったのは、もう1年以上も前、たまたま車の中で耳にしたラジオ番組の書評コーナーだった。「子ども」と「階級闘争」という一見、相容れない言葉の組み合わせと紹介された内容にとってもインパクトがあった。しかし、300ページ近い分厚い本だと知り、その時は注文することさえしなかった。子育て中の私にとっては、ただ“読みたい”だけの本を読む時間はなかなか作れない。今回、この書籍紹介への原稿依頼をいただき、紹介したい本として真っ先に頭に浮かんだのが、本書であった。これを機会に、ただ“読みたい”だけの本から、“読まなくてはならない”本へと格上げされ、やっと読むことができた。

本書を再び読みたいと私に思わせしたのは、先日、偶然目にした新聞の論評だった。「英国の女性参政権100年 緊縮財政が招く権利後退」(朝日新聞、2018/9/15版)というタイトルのその論評には、英国中部リーズで10歳以上の貧困層の少女たちが生理になると学校を休んでいること、その理由は家庭に生理用品を買う余裕がなく、制服が汚れることを恐れて登校できないからであること、そして保守党が政権に返り咲いた2010年から英国政府が行ってきた緊縮政策により、もともと男性に比べて所得の低い多くの女性が貧困に陥っていることなどが紹介されていた。社会の根底から、リアリティのある言葉で政治を批評する鋭い眼差しに感心しながら、「こんな文章を誰が書いているのだろう」と筆者の紹介欄に目をやると本書の著者であるブレイディみかこ氏であった。

本書は、2008年に著者がボランティアとして飛び込んだ、失業者や低所得者の子どもたちを無料で預かる託児所が舞台

となっている。この託児所は英国で「平均収入、失業率、疾病率が全国最悪の水準1パーセントに該当する地域」にあり、「底辺託児所」と評されていた。当時のその場所には、様々な文化や思想信条、バックグラウンドを持つ人々が集うカオスであり、貧しいながらも互いが不必要なまでに憎悪し合うようなことはない、「下側の者たち」のコミュニティが存在していた。しかし、2010年以降、保守党が緊縮政策に舵を切り、福祉、教育、医療への財政支出を急激に削減していく。4年間の民間保育所勤務を経て著者が2015年に再び同じ託児所に舞い戻ってみると、その様相は激変していた……。

どの時代にあっても、どの国に生まれても、子ども達は否応なく大人たち社会の影響をまろに受けている。2015年の相対的貧困率をみると、英国の10.6%に比べ、日本の方が16.1%と高い。とくに日本では、ひとり親世帯の相対的貧困率は5割を超え、OECD加盟国全体のなかでも最低水準にあるといわれている。声なき小さなものたちの叫びに耳を澄ませ、ともに歩み、行動することができるのか、私たち大人が問われていると感じた。



羅漢さま

愛宕念仏寺～六角堂頂法寺

気持ちの良いお天気の日、嵯峨野を散策して愛宕念仏寺へ行きました。そこには様々な表情をした石の像が立ち並んでいました。彫り方も様々で一つ一つに見入ってしまいました。

寺のパンフによるとこれは「千二百羅漢」と言い、寺の復興のため昭和56年から10年間、1200人の一般参拝者自身の手によって彫られたものだそうです。一人一人が心を込めて彫られた像は、どれも柔和な顔をしていて、彫った人の祈りや人柄がにじみ出ていると思いました。



千二百羅漢像

羅漢とは何なのでしょう。お地蔵さまとは違うようです。調べてみました。羅漢とは煩惱をすべてなくした人のことで、小乗の悟りを得た聖者のことをいい、サンスクリットのアルハンの音訳を阿羅漢として、それを略称にしたものと言われているそうです。仏教の世界で、仏典編集会議というものがある、第1回、第4回に集った人々がそれぞれ 500人であったことから、仏教で供養尊敬を受けるに値する人々を「五百羅漢」と称しました。尊敬・崇拜の意を表すため、

室町時代以降、羅漢像が制作されるようになり、一つ一つの表情の中に豊かな人間性を感じさせるため、江戸時代に羅漢信仰が隆盛して、羅漢の群像が日本各地に作られるようになったそうです。

我が家の近くにも羅漢さまが見られるお寺がありました。京都市中京区六角通りにある生け花発祥の地と知られる六角堂頂法寺です。こちらの羅漢は十六羅漢像です。十六羅漢というのは、方位の四方八方を倍にした数で、あらゆる場所に羅漢がいることを意味しているそうです。どの羅漢さまも、にこにこした表情をしています。「和顔（わげん）愛語（あいご）」と言って、いつも優しい顔つきで、穏やかに話をするように心がけてさえいれば、必ず良い報いがあるという教えだそうです。



十六羅漢像

伏見稲荷神社の近くにある百丈山石嶺寺には、画家・伊藤若冲が下絵を描き、約10年余りにわたって石工に彫らせた五百羅漢像があります。当初は千体以上あったそうですが、現在は五百数十体が裏山に安置されています。長年の風雨を得て丸み、苔むし、風化に伴う表情や姿態には、深い趣があります。残念なことに、写真撮影は禁止でした。

事務局通信

北部自治体学校の参加者感想

「原発事故—新規制基準と京都北部の住民避難を考える—」をテーマに10月13日、舞鶴西総合会館で北部自治体学校が100名の参加で開催されました。

池田、市川両氏の講演を聴いた参加者から多くの感想が寄せられましたのでその一部をご紹介します。

講演①「住民避難はなぜ自治体責任なのか 国際基準と福島原発事故が示すもの」

○原発が近接立地する自治体は、地震が起き津波が来て原発事故となれば、地震、津波の被災者への対応をすることなく、原発事故より住民避難させることになるのだろうか？

○原発認可を世界基準の法律にさせる運動も必要なのだろうか？

自治体職員として色々と考えさせられる良い講演でした。

講演②「不可逆的被害をもたらす原発事故の特殊性と若狭原発群がかかえる新たな問題点」

○新規制基準と規制委員会の本質をスパッと明らかにしていただき、今後の活動の参考になった。使用済核燃料の建設の動きは、おさまっていたように思えたが、今日の話で近々活発化すると思える。

京都まちづくりシンポジウム第4回

番組小学校150周年を前に

地域・学校は宝の山

お話 その1 早川幸生さん

お話 その2 中林浩さん
神戸松蔭女子学院大学教授

日時 11月17日(土) 13:30~16:30

場所 教育文化センター

主催 京都教育センター
京都自治体問題研究所

68th ツキイチ土曜サロン

- ・開催日 11月17日(土)
- ・時刻 14:00~
- ・場所 京都自治体問題研究所
- ・報告 藤井功さん

<今月の本>

「権力と新聞の大問題」集英社新書(望月衣塑子、マーティン・ファクラー、18.6 860円+税)

官房長官会見で記者として当然の質問を重ねることで、なぜか日本の既存メディアから異端視される東京新聞の望月記者。そんな「不思議の国・日本」のメディア状況を、彼女とニューヨーク・タイムズ前東京支局長マーティン・ファクラー記者がタブーなしで語りあう。

政権とメディア上層部の度重なる会食や報道自粛の付度など、問題は山積している。はたしてメディアや記者クラブが守るのは言論の自由か、それとも取材対象の利益か。権力を監視・チェックするジャーナリズム本来の役割と部族化する言論空間の問題点、新メディアの可能性などの展望を示す警世の一冊(集英社)。

お気軽にご参加下さい

土曜サロンは、参加自由、事前申込不要。終了後、参加者による気軽なワンコイン懇親会を行っています。



お知らせ

●第4回理事会を開催します●
開催日時 12月11日(火) 18:30~